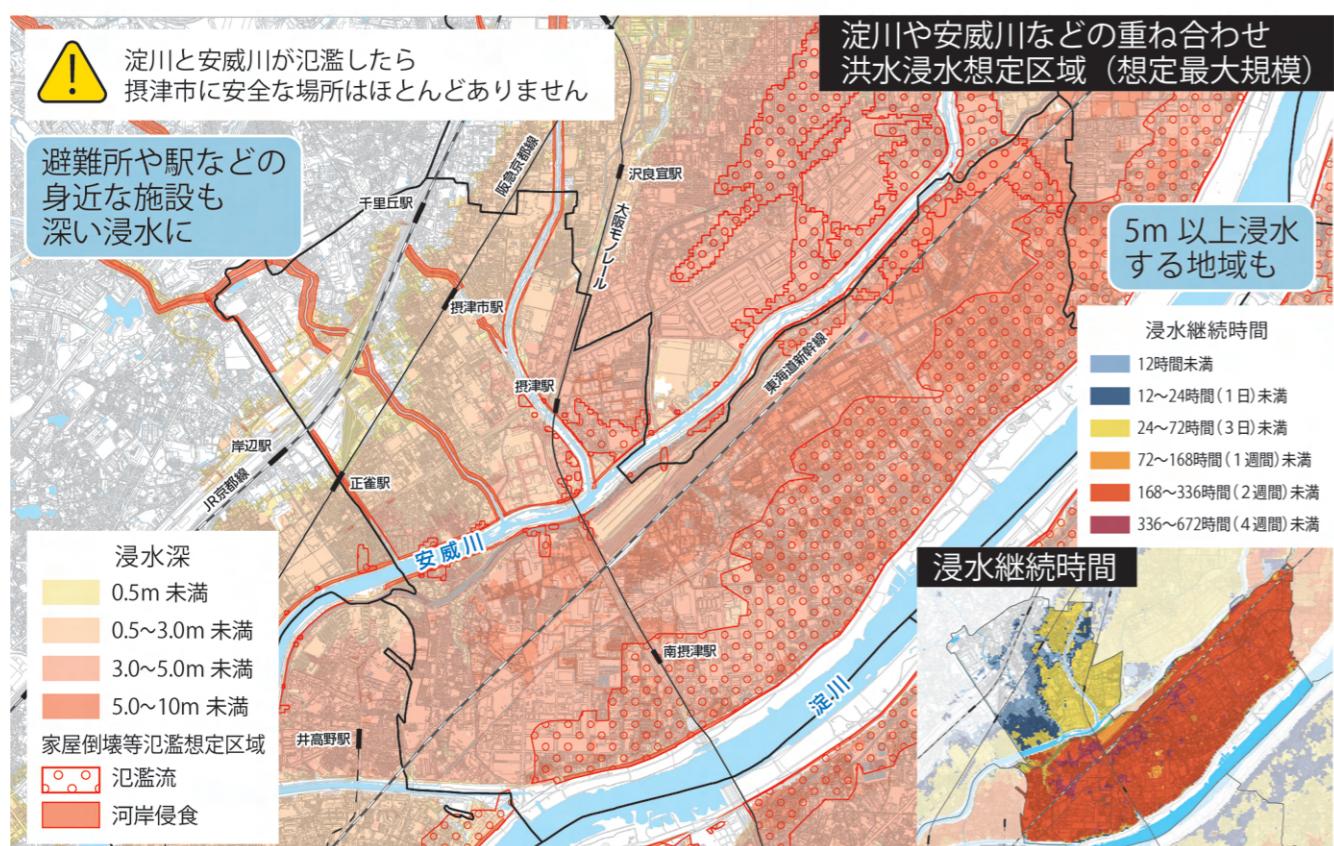
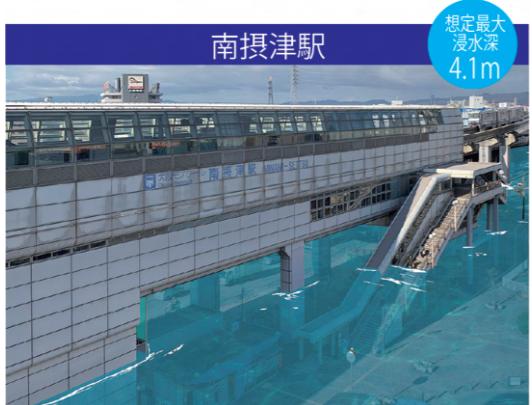


## 洪水時には

# 広域避難

## ▷ 河川氾濫時の 浸水イメージ



**あなたの自宅は？** チェックしてみよう

- ①上の大図で色が塗られていますか？ → はい／いいえ 〈はい の人は、洪水浸水想定区域です〉

②上の大図で マークや マークで塗られていますか？ → はい／いいえ  
〈はい の人は、家屋倒壊等氾濫想定区域です〉

③あなたの家は、浸水時何メートルまで浸かりますか？ ( ) mまで

④あなたの家で避難できる1番上の階は、何階ですか？ ( ) 階 → およそ ( ) m

⑤「③」と「④」から、あなたは浸水しない高い部屋に避難できますか？ → はい／いいえ

⑥上の小さな地図から、水が引くまでに何時間かかりますか？ ( ) 時間未満 [ ] 日

電気もトイレも使えない状態での生活は、非常に過酷なものです。

淀川や安威川の氾濫による浸水継続時間を見ると、安威川以南の地域ほぼ全域で、3日以上浸水したままの状態となることが想定されます。これは、淀川と安威川の堤防に囲まれることで、なかなか水が引かないいためです。

その場合、高い建物に避難しても、孤立した場所での長期間の避難生活となり、健康被害などが心配されま

何日間も「浸かったまま」

左図の「洪水浸水想定区域（想定最大規模）」では、想定している浸水が地面から3mを超える区域が広範囲にわたり、一部では5mを超える浸水があると考えられています。これは、人も車も、2階建ての家も浸かるほどの深さです。

市ほぼ全域が一浸かる  
摂津市は、平坦で暮りしやすい地形ですが、平坦な土地は水害が発生しやすい地形とも言えます。  
淀川や安威川が氾濫した際には、  
摂津市は北西の一部地域を除いて、  
市域のほぼ全域が浸水する危険性が



令和3年7月の川田川（東正雀付近）

## 地震発生時の避難と何が違うの？



避難といえば、学校などの身近な緊急避難場所へ行くことだと思っていませんか。しかし、淀川や安威川が氾濫した場合、身近な緊急避難場所の多くは長時間にわたり、水に浸かってしまいます。そこで、これまでイメージしていた避難行動とは違う『広域避難』を行う必要があります。

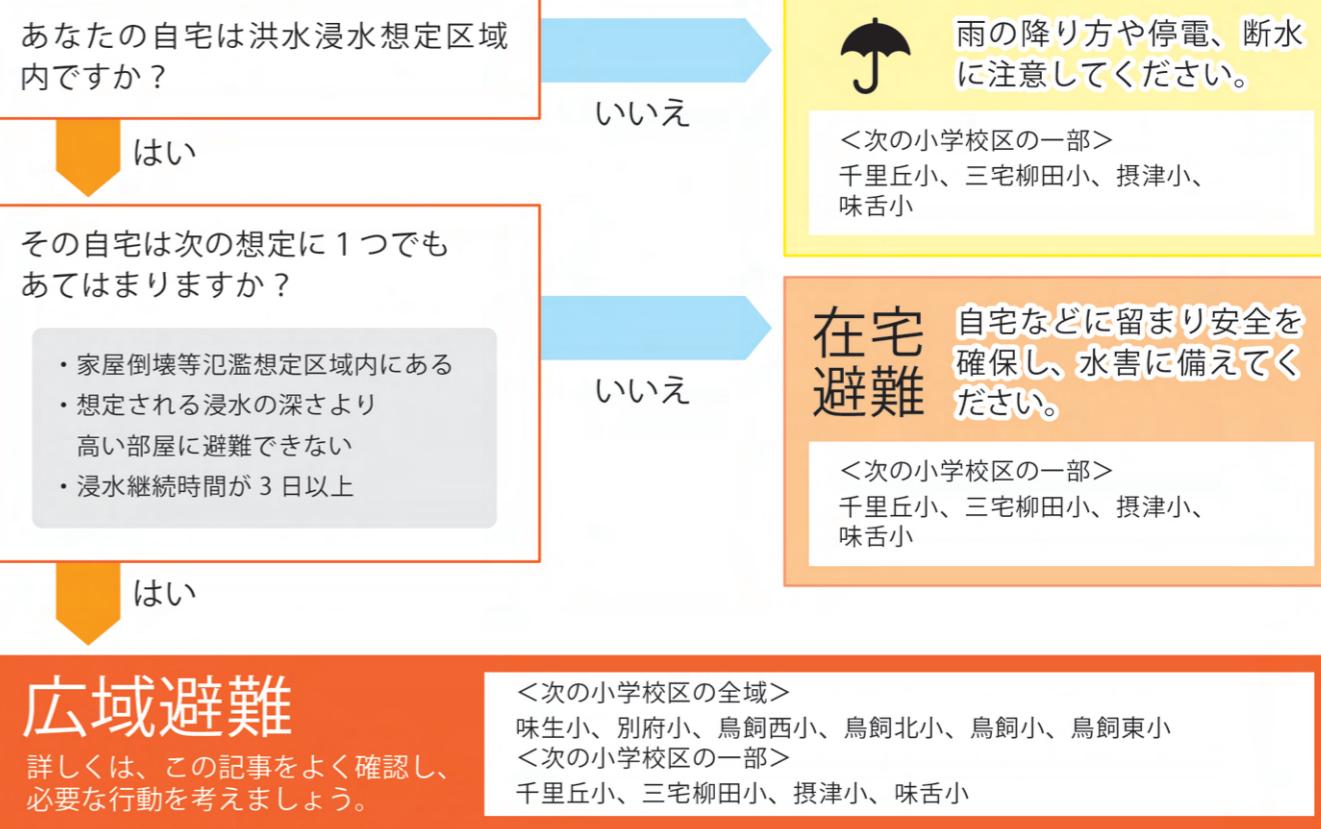
	地震発生時の避難	広域避難
主な避難先	身近な学校や公民館など、近距離にある安全な施設	摂津市外の知人宅やホテルなど、遠方にある安全な施設
主な移動手段	基本的に徒歩	主に自動車や公共交通機関
避難にかかる時間	短い（1時間程度あれば避難先へ到達できる場合が多い）	長い（状況により異なるが、数十時間かかる場合もある）

## あなたの避難行動を考えよう！



お住まいの地域や建物の高さによって適切な避難行動は異なります。あなたがとるべき避難行動をチェックしましょう。

※わからなければ、前ページの「チェックしてみよう」で確認！



## 広域避難は時間かかる！

摂津市では、広域避難先の1つに「万博記念公園の駐車場」を想定しています。もし市民が一斉に車で万博記念公園へ移動したら、どのくらいの時間がかかるでしょうか？



広域避難について、シミュレーションを用いて紹介した動画があります。ぜひご覧ください。



## 広域避難ってなに？

広域避難とは、市域を越えるなど浸水しない安全な地域まで避難を行うことです。摂津市は、淀川や安威川が氾濫すると市域の大部分が浸水するため、広域避難が必要です。



摂津市外でも浸水の恐れがあります。どの地域が安全なのか、近隣自治体のハザードマップなどを事前に確認するようしましょう。

# いざ！避難開始のタイミングと行き先を考えてみよう

6ページでチェックした避難行動をもとに、避難開始のタイミングと行き先を考えてみましょう。この紙は、できれば切り取って、冷蔵庫などのわかりやすい場所に貼っておくといざというときに有効です。

※タイミングや行き先の他、考えておくべきことは右記QRから確認してください



## 我が家の広域避難の場所

(

)に避難する

※避難先まで、どのくらいの時間がかかるでしょうか？

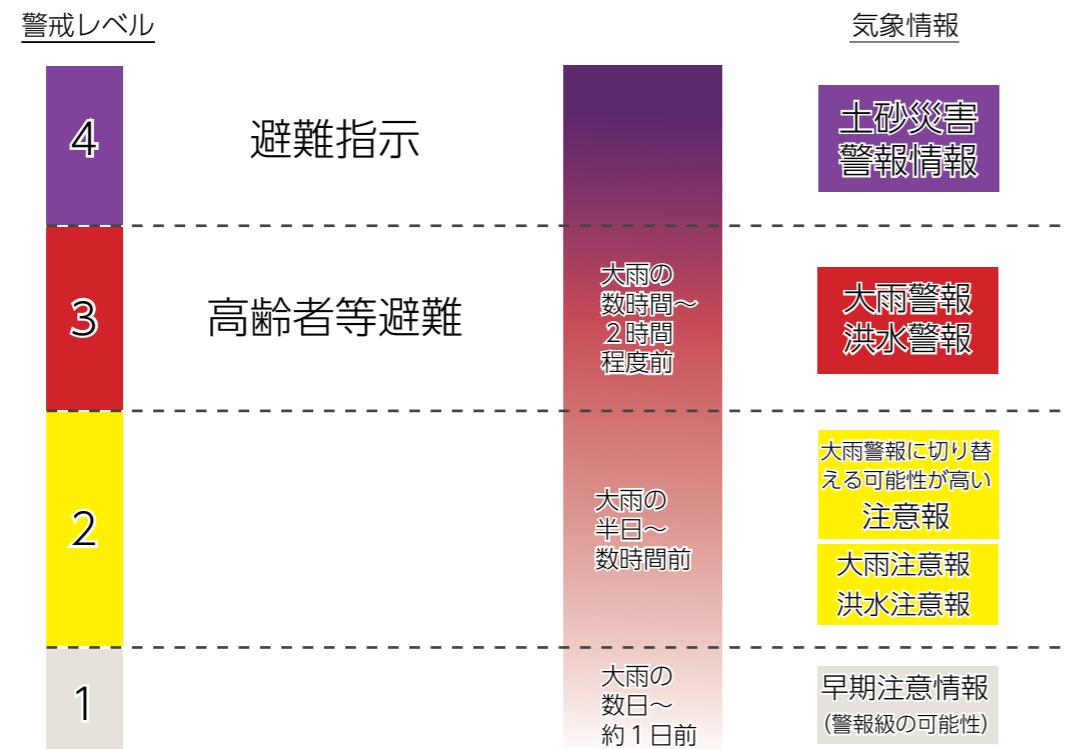
(

)分くらいかかる

避難開始のタイミングは？

警戒レベル（

)の発令



## 広域避難で、皆が一斉に同じ場所へ移動するとどうなる？

各地で大渋滞が発生



渋滞中に氾濫すると、車が沈むおそれも！

避難先が圧倒的に不足



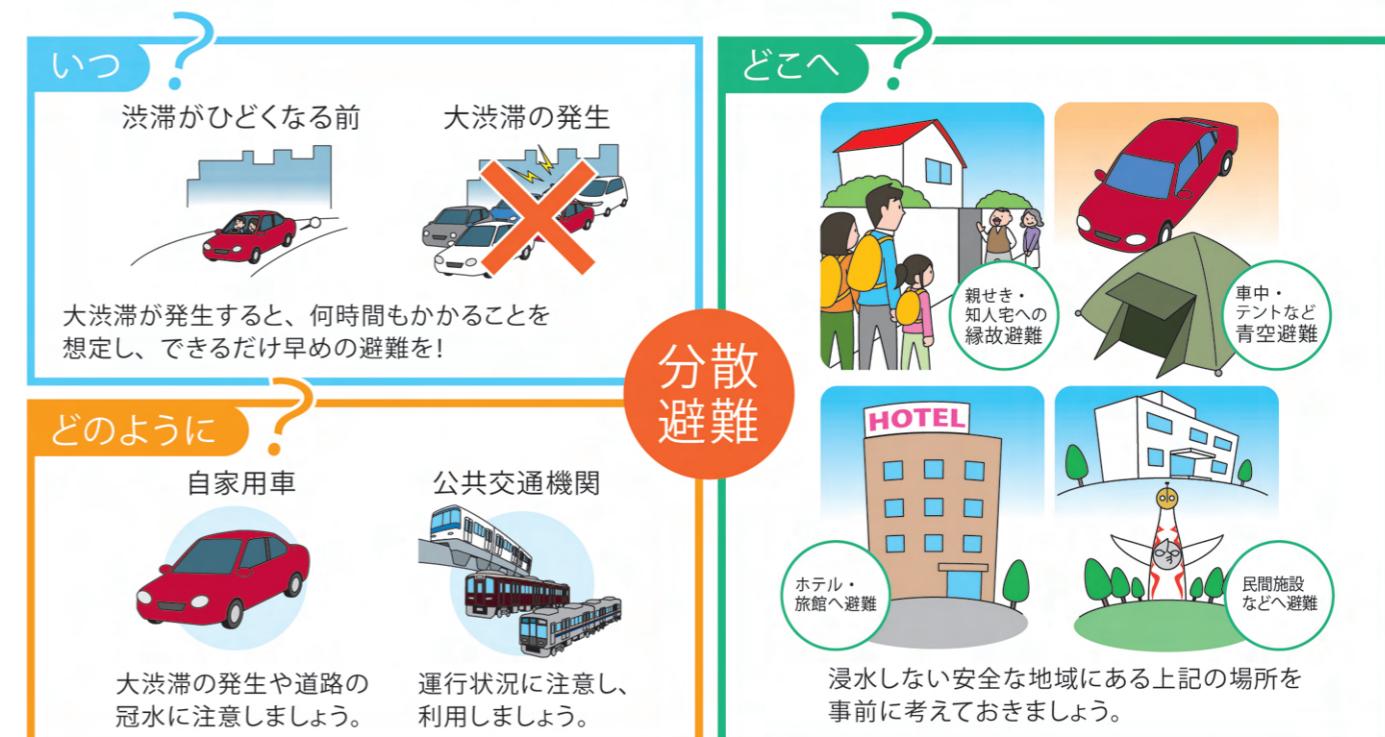
広域避難先の1つとして想定している万博記念公園の駐車場だけでは、全摂津市民の車を収容することはできません。

## 命を守る広域避難をするために

広域避難では多くの人が移動するため、どうしても渋滞や混雑が発生します。逃げ遅れないためには下図のような「分散避難」をすることが重要です。

いつ → どこへ → どのように 避難するのか、

災害が迫ってからではなく、今から考えておきましょう。



いざというとき、速やかに避難行動を取るために、避難開始のタイミングと避難先をあらかじめ決めておくことが大切です。